

産婦人科診療を思う、この時期に

副院長（兼）産婦人科統括科長 手塚 尚広

特集:新年度あいさつ

副院長
（兼）臨床検査部長
（兼）輸血部長
（兼）産婦人科統括科長

手塚 尚広

・・・1

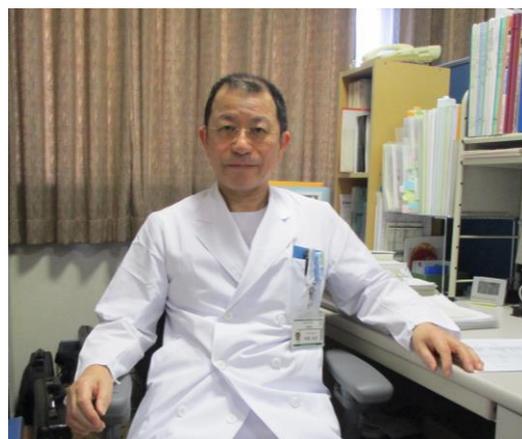
医療連携・相談室
担当医師 & スタッフ
紹介・・・2～3

医療連携室からの
お知らせ・・・4

平素より患者さんのご紹介を賜りまして、誠にありがとうございます。婦人科腫瘍や更年期障害などが疑われる方、妊娠との関連が疑われる方など、診療の科を越えて多くの先生方からご紹介を頂いております。腫瘍専門医でもある小島原、4年前に当院で研修し専門医となった奥井、専攻医の研修を始めた飯澤、そして私の4名は、産婦人科医として「女性の健康こそが地域を、そして社会を元気にする」という確たる信念を持って診療にあたっています。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、当院にお世話になって14年目になります。その前の職場は山形大学で、2000年までは周産期から腫瘍、不妊内分泌まで、いわゆる何でも屋でした。地味に子宮平滑筋イオンチャネルの分子生理学的研究を続け、人知れず医学教育に疑問を抱いて学会に属し、PBL（問題解決型学習）を授業に採り入れてきました。2001年からは山をなす事務を処しながら、周産期に特化した診療と婦人科がん手術に力を注いでまいりました。2007年に赴任してすぐ、救急初期診療を含めて学び直し、思いを新たにしました。

ほどなくして私は、「チーム医療の強化と人材の育成」を産婦人科の最重要課題としました。基本を重視し根拠に基づく、納得できる医療を提供するのが眼目です。その課題に呼応



すべく私たち4名には、常に心掛けています。それは情報を共有すること、チーム医療を重視すること、そして日常に漂う閉塞感の打開に不可欠な、科学する心を持ち続けること。実際には毎日、朝と夕にカンファレンスを励行しています。サイエンスする心の証しは、公正な外部評価に委ねています。この積み重ねは「チーム医療の強化と人材の育成」に資するものと確信しています。

緊急事態宣言が出た。世は新型コロナウイルス禍一色。テレビは報道に忙しい。多くの方が感染とその恐怖に苦しみ、ほとんどの人々が当たり前の日常を失っている。安穩と原稿など書いていていいものかと、ためらいを覚えた。疾風に勁草を知る。私たちは試されているのかもしれない。一日も早い終息を願いつつ擲筆いたします。

令和2年度 医療連携・相談室 医師・スタッフ紹介

令和2年度、医療連携・相談室の職員体制を紹介いたします。

江口医療連携部長が就任され、医師（副部長）4名、看護師12名、社会福祉士5名、精神保健福祉士（兼）社会福祉士3名、事務職等、33名の組織となりました。

新たなメンバーを迎え、在宅療養支援体制や医療連携体制のさらなる充実を図っていきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



<医師紹介>



江口 英行（えぐち ひでゆき）

副院長(兼)医療連携部長(兼)診療部長（内科系二）
(兼)教育研修部長（兼）内科（代謝・内分泌）統括科長
(兼)栄養管理室長(兼)人間ドック室長(兼)医療連携・相談室長



高橋 潤
(たかはし じゅん)

医療連携部副部長
(兼)診療部長（総合診療科）
(兼)教育研修部副部長
(兼)総合診療科科長



渡辺 晋一郎
(わたなべ しんいちろう)

医療連携部副部長
(兼)診療部長（内科系一）
(兼)内視鏡部長
(兼)教育研修部副部長
(兼)消化器内科科長
(兼)内視鏡室長



大楽 勝之
(だいらく かつゆき)

医療連携部副部長
(兼)診療部長（外科系五）
(兼)整形外科統括科長



鈴木 春芳
(すずき はるよし)

医療連携部副部長
(兼)精神科医長

<スタッフ紹介>

★印は今年度新たに加わったスタッフ

連携部門



医事情報課長
(兼)医療連携相談主幹
たなか さとし
田中 聡



事務
やまぐち せいこ
山口 聖子



社会福祉士
よしだ あやの
吉田 文乃



事務
せいの
情野 はるみ



予約センタースタッフ

相談支援部門



看護師長
緩和ケア認定看護師
いとう ひろみ
伊藤 裕美



助産師
さがえ わかこ
寒河江 和加子



看護師
こばやし みほ
小林 美帆



社福士・精神
はせべ ゆたか
長谷部 泰



社福士・精神
おおつ なつき
大津 菜月



社会福祉士
ほそや えり
細谷 笑里



社福士・精神
いちの りょうこ
市野 涼子

注) 社福士・精神は、社会福祉士(兼)精神保健福祉士の略です

入院支援部門



副看護師長
こせき じゅんこ
小関 純子



副看護師長
よしだ さとみ
★吉田 里美



看護師
たかいし じゅんこ
高石 純子



看護師
えんどう としこ
遠藤 俊子

退院支援部門



副看護師長
たかはし みちこ
高橋 美智子



副看護師長
さとう みき
佐藤 満喜



社会福祉士
はせべ ゆか
★長谷部 由佳



看護師
なす やすこ
那須 康子



看護師
たかはし ゆかり
高橋 紫



看護師・社会福祉士
おがさわら あやこ
★小笠原 亜矢子



社会福祉士
さいの あつこ
齋野 敦子



社会福祉士
すがい ひろこ
須貝 広子

新型コロナウイルス対策 (令和2年4月24日)

国内における感染拡大の状況を踏まえ、公立置賜総合病院においても感染対策を講じております。院内感染予防等のための検討を行い、対策の強化を行っているところです。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

受診者対応…正面玄関付近にて検温を実施。(7:00~17:00)

発熱(37.5度以上)や身体症状がある場合、看護職員がスクリーニングを行い、新型コロナウイルス感染症が疑われる等の場合は各地域の新型コロナ受診相談センター(各保健所)に電話問い合わせして頂き、指示に従って診察を実施する。

電話診療…院内感染予防のため、慢性疾患等で定期受診されている方からご希望があった際は、電話で診療し、必要に応じて処方箋の発行を行う。

面会者対応…一般、ご家族の面会は全面禁止。

手術・病状説明、緊急等、医師が認めた場合のみ、少人数に限り面会許可証を交付し、短時間とする。
ご家族の洗濯物等の受け渡しは時間を設定して職員での受け渡し対応を行う。

洗濯物等受渡し

受渡し時間 : 平日 15:00~19:00
: 土日祝 15:00~18:00
受渡し場所 : エレベーターホール

★地域の医療・介護関係者の方々も同様に、医師が必要と認めた場合とさせていただきます。ご協力願います。

リハビリ…外来患者と入院患者の同一空間での共有を避けるために、時間帯を異にして行う。外来患者のリハビリに関しては、当分の間、平日9:00~10:00(入室は9:40まで)に限り実施する。

院内対策…会議・研修会は必要性を検討し、感染対策に十分留意の上、開催する。または中止・延期を行う。 会食・宴会は中止、または延期とする。 不要不急の外出・出張等は自粛する。

※感染状況により、対応の変更がなされることをご了解ください。

公立置賜総合病院

〒992-0601

山形県東置賜郡川西町

大字西大塚 2000 番地

病院代表

TEL:0238-46-5000

(連携室、退院支援室同上)

医療連携・相談室

FAX:0238-46-5721

退院支援室

FAX:0238-46-5030

予約センター

TEL:0238-46-5700

FAX:0238-46-5722

病院理念

心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団

公立置賜総合病院

www.okitama-hp.or.jp

あしがき

公立置賜総合病院は、令和2年4月に新たに職員を迎え、新体制でスタートしました。感染拡大防止のため、例年行っているあいさつ回りは中止となってしまいましたが、医療連携だよりを通じてスタッフを知っていただくことで、さらに充実した医療連携を図っていけるよう努めてまいります。